

自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 平成28年3月4日(金)

発行者 学校長 枝迫大成

所在地 神奈川区西寺尾3-10-1

電話 401-3644 FAX431-0244

「我以外皆我師」

校長 枝迫 大成

本年度もいよいよ3月を迎え、卒業式、修了式と1年を総括する月でもあります。1日1日は長いと感じることもありますが、1年間はとても短く感じるものです。もうすぐ中学校を卒業する3年生にとって、3年間はとても早く感じているのではないかと思います。保護者の皆様も同じではないでしょうか。短く感じるということは、充実した3年間だったといえるのではないかと思います。これからの日々も大切に、また今日のこの一日を大切に過ごしていきたいものです。

さて、表題の「我以外皆我師」とは、『宮本武蔵』『三国志』などの小説を執筆した作家の吉川英治氏が座右の銘としているもので、簡単に言えば「自分以外は全て、自分に何かを教えてくれる先生である」という意味です。吉川英治氏は、横浜生まれで、家庭の事情から小学校中退という学歴であり、その後多くの職業を次々変えながら、自分一人で、勉強・修行を続け、小説家になったそうです。名作「新書太閤記」に、次の一節があります。

秀吉は、貧しい家に生れ、逆境に育ち、特に学問するなど教養を身に付ける時間はもたなかったために、常に、接する者から必ず何か一事を学び取るということを忘れない習性を備えていた。だから、彼が学んだ人は、ひとり信長ばかりでない。どんな凡下な者でも、つまらなそうな人間からでも、彼は、その者から、自分より勝る何事かを見出して、そしてそれをわがものとして来た。

つまり、吉川氏は、自分を豊臣秀吉になぞらえて感じたのかも知れません。さらに、とても尊敬に値しないような相手であり、悪い人間であっても、「あんなふうには自分になっちゃいけない」と「反面教師」つまり逆の意味の先生として捉えればよいのだと考えたのでした。いつまでも「学ぶ心」を忘れずに、自分自身を向上させるためにも、すべての事から素直で謙虚な気持ちをもって学ぶ姿勢が大切だと思いました。

保護者・地域の皆様には、本年度も本校の教育活動に御支援と御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。
来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

